

令和 3 年度市民協働推進事業 実績報告資料

事業名	保護犬の人慣れ訓練プロジェクト		提案型	<input checked="" type="checkbox"/> 行政提案型	<input type="checkbox"/> NPO 提案型
実施団体	一般社団法人 ALL AS ONE	協働課	保健所 衛生課		
課題の概要	<p>・現在、岡山市では飼い主の判明しない犬を保護した場合、殺処分せず、新たな飼い主への譲渡を進めている。</p> <p>・長期に譲渡先が決まらない犬たちは一生を檻の中で過ごすことになる。犬にとって不幸だけでなく、飼育には一定の費用が発生するため、受け入れにも限界がある。</p> <p>・保護犬を譲渡につなげるために最も重要な要素が「人に慣れていること」である。</p> <p>・保護犬が人に慣れるため、ボランティアによる飼育と訓練が必要となるが、金銭的・身体的負担などの理由からボランティアが定着せず、慢性的に不足している。</p>				
事業の内容	<p>①人馴れしていない犬の訓練体制の整備(訓練の拠点整備、ボランティアの育成、ボランティアをサポートする体制の整備など)</p> <p>②効率的な譲渡を実現するための情報及び機会の拡充(譲渡を促進するための情報発信と譲渡会の開催など)</p> <p>③安定的・継続的な事業展開を支える支援基盤の確立(専門家とのネットワークづくりや安定的な財源調達に関する検討・準備など)</p>				
目標と成果	目標		成果(12/30 時点)		
	① 訓練 体制 の 整備	拠点の確保と整備	事業開始直後から岡山市南区の「わんどッグハウス」を新たな拠点として整備を進めている。		
		ボランティアの発掘と育成	<p>・「常時 20 名のボランティアを確保」という目標に対して、新規登録者 57 名、うち定着している(常時)ボランティアは 18 名。</p> <p>・訓練士による「人慣れ訓練教室」と外部専門家による「セミナー」を毎月開催している。</p>		
		サポートメニューの構築	<p>・「人慣れ訓練教室」と「セミナー」にて直接的に不安を解消している。</p> <p>・「LINE」や専用アプリを用いて、事務連絡、訓練状況、スケジュールなどを共有している。</p>		
	② 譲渡 の 情報 と 機 会 の 拡 充	情報発信	<p>・実施団体、岡山市のホームページで随時保護犬の情報を発信している。</p> <p>・譲渡会参加者へのアンケート結果等から実施団体のホームページへのアクセスが増えていることが確認できた。</p>		
		譲渡会の開催	<p>・現在までに予定どおり3回の譲渡会を開催。3月に4回目の譲渡会を開催予定。</p> <p>・参加者は2回合計で約300名。</p> <p>・譲渡成立件数 25 件の目標に対して、現在までに 13 頭の譲渡が実現。その他にも譲渡の希望はあったが適性を判断して断っている。</p>		
		捨てさせないための助言・指導	<p>・保健所の確認のもと作成した資料を使用して譲渡先(里親)への指導を行っている。</p> <p>・譲渡会の案内等をきっかけとして地元(南区小串)町内会との交流を進めている。</p>		
	③ 支 援 基 盤	専門家を交えた会議の開催	<p>・プロジェクト連絡会議を毎月開催しており、訓練士との交流・相互理解を深めている。</p> <p>・獣医師会、その他の専門家組織との会議は開催できていないが、個別の獣医師とは連携を深めている。</p>		
里親会の開催		9月の譲渡会とあわせて里親会を開催。7組の里親が参加。			

令和3年度市民協働推進事業 実績報告資料

事業名	保健所に収容される乳飲み仔猫対策について		提案型	<input checked="" type="checkbox"/> 行政提案型	<input type="checkbox"/> NPO 提案型
実施団体	岡山のひら子猫	協働課	保健所 衛生課		
課題の概要	<p>・現在、岡山市では飼い主のわからない猫を引き取った場合、殺処分せず、新たな飼い主への譲渡を進めている。</p> <p>・岡山市で引き取られる猫の8割以上が幼齢猫であり、譲渡へつなげるためには一次的な養育が必要となるが、コスト等の都合から行政では十分な対応ができない。</p> <p>・養育には市民の協力(ミルクボランティア)が必要不可欠となるが、拘束時間の長さ、命を扱う責任の重さ、必要経費の自己負担等の理由から人員が定着せず、常に不足している。</p>				
事業の内容	<p>①ボランティアの養成(新規ボランティアの発掘と養成など)</p> <p>②ボランティアを支える環境整備(ボランティアの定着を支えるための伴走支援の体制構築、医療ケアをサポートする資料の作成など)</p> <p>③譲渡のしくみづくり(譲渡会の開催、譲渡の効率化・適正化のためのフローチャート作成など)</p>				
目標と成果	目標		成果(11/30時点)		
	① ボ ラ ン テ ィ ア の 養 成	新規ボランティアの発掘	<p>・「新規登録人数4人以上」の目標に対して、4名が登録。その他に搬送ボランティアとして5名、その他のボランティアとして4名が登録。</p> <p>・7月22日に説明会を開催。参加者は「1回/20名以上」の目標に対して27名。令和4年3月に2回目の説明会を開催予定。</p>		
		ボランティアの研修会	<p>・現在まで実施なし。</p> <p>・ボランティアの人数が少なく、伴走支援で十分に対応できているため、現時点で今年度の実施予定なし。</p>		
	② 環 境 整 備	ボランティアの伴走支援	<p>・3名のボランティアに対して伴走支援を実施中。内容は主に「LINE」を活用した相談対応など。</p> <p>・年度末にボランティアへのアンケートを実施して、役に立ったサポート、必要なサポート等を確認する予定。</p>		
		サポートツールの作成	<p>・譲渡の手順や注意事項を記載した「譲渡マニュアル(全24ページ)」を作成、運用している。</p> <p>・おたすけハンドブックは初心者にもわかりやすいように「チャート」を多用した構成になっている。</p>		
	③ 譲 渡 の し く み づ く り	譲渡会の開催	<p>・譲渡数「保健所に収容された乳飲み仔猫の8割以上」の目標に対して、10件/15件(約7割)の譲渡が成立。(11/30現在)</p> <p>・7月、8月、11月に譲渡会を開催。参加者は合計約150名。今後は12月12日、令和4年1月、2月に開催予定。</p> <p>・市保健所の協働事業として信用性も高まり、新たな譲渡会会場の開拓につながっている。(生き物を扱うため貸施設が利用しづらかった)</p>		
		サポートツールの作成	譲渡のフローチャートを作成、すでに運用中。		
		広報手段の確立	<p>・実施団体と岡山市のホームページのほか、実施団体のブログ、インスタグラム等で随時譲渡に関する情報を発信している。</p> <p>・今後はテレビやラジオ等の取材を積極的に受け、さらに多くの市民に媒体を認知してもらう必要がある。</p>		